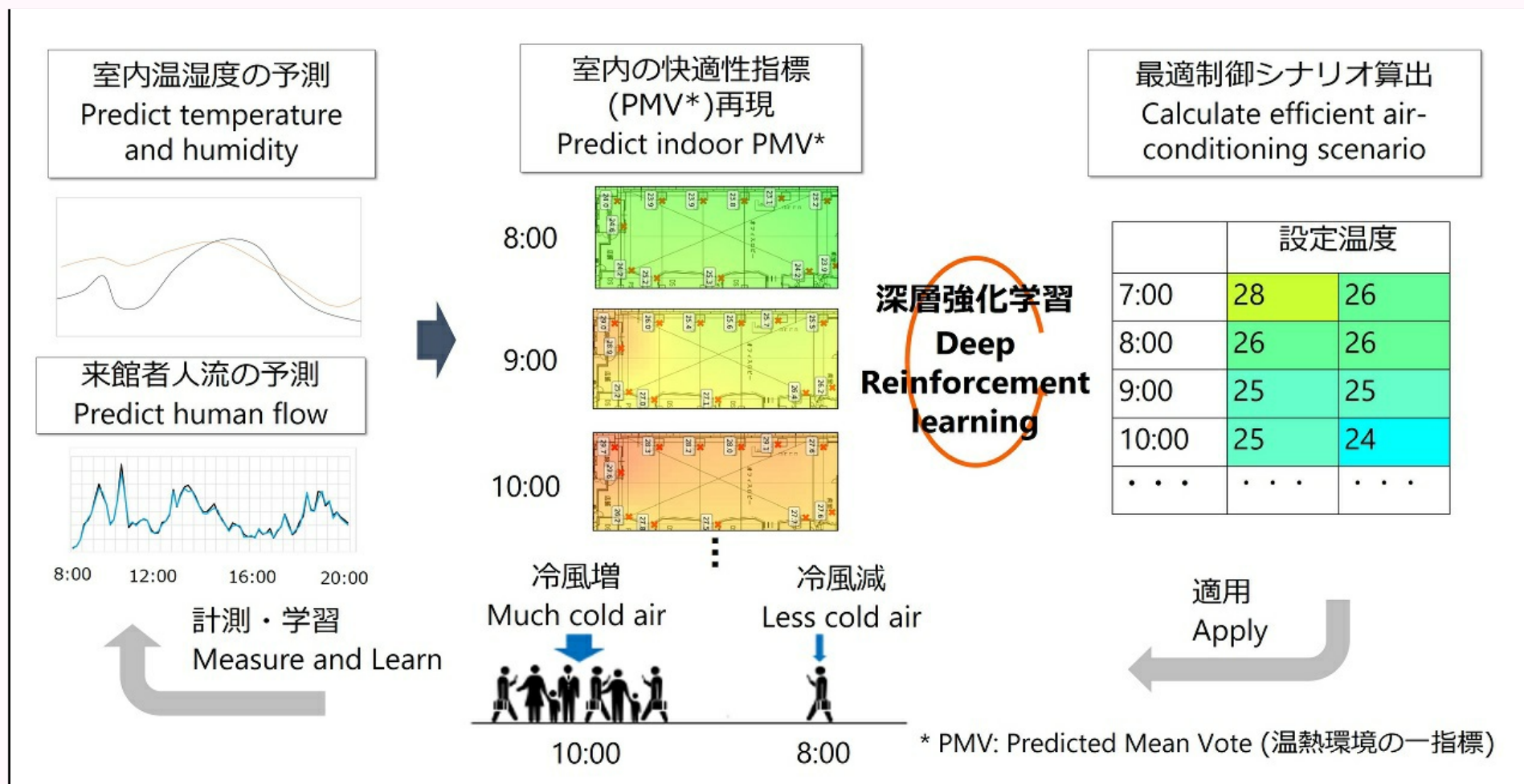




快適性予測と強化学習に基づき空調を最適化します

概要

室内の快適性指標（PMV）を温度、湿度、運動量より再現した上で、省エネかつ快適となる空調制御シナリオを深層強化学習で算出することで、大規模ビルの共用部における最適な空調制御を実現します。これにより、空調による消費エネルギー量と、来館者の感じる快適性を同時に最適化することができます。



特徴

- 来館者人流や室内温湿度の予測により、空調によって実現される快適性を高精度に再現
- 深層強化学習により、直前状態と将来状態を両方考慮した空調制御を実現

利用シーン

- 商業ビルの通路や共用空間における空調の最適化
- オフィスビルのロビーやラウンジにおける空調の最適化

今後の展開

- 街づくりDTCの具体的なアプリケーションとしてさまざまな街区開発へ適用します。

コラボレーションパートナー

- 東日本旅客鉄道株式会社

出展社

日本電信電話株式会社、
株式会社NTTファシリティーズ、
株式会社エヌ・ティ・ティ・データ

問い合わせ先：rdforum-sv-ml@hco.ntt.co.jp